



HUMAN RIGHTS & PEACE

だい ごう
第301号

〒720-0061 福山市丸之内1-1-1

TEL 084-924-6789 FAX 084-924-6850

じんけん へいわ
人權と平和は

せいき
21世紀のキーワード

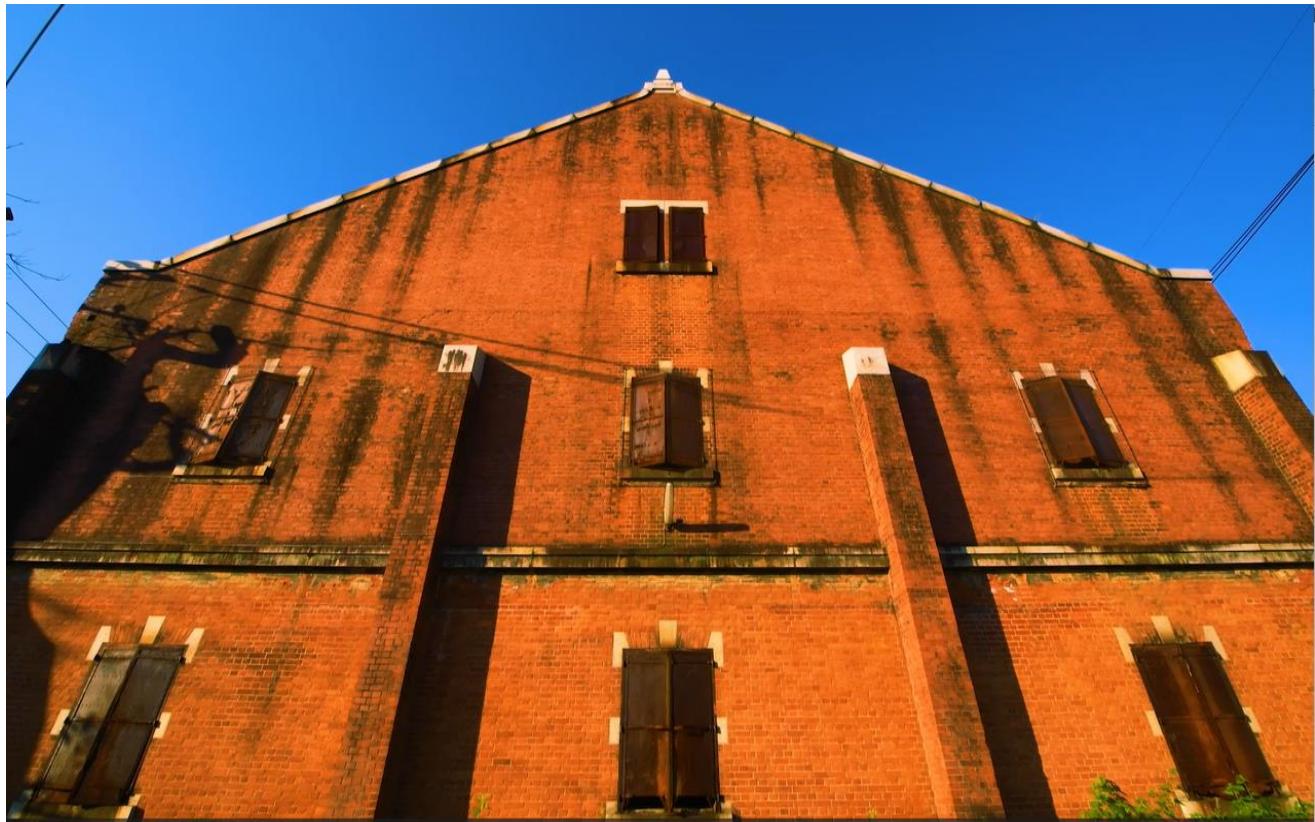
jinken-heiwa-shiryoukan@city.fukuyama.hiroshima.jp

ひばくたてもの きゅうひろしまりくぐんひふくしょう てん 被爆建物「旧広島陸軍被服支廠」展

あか そうこ かた
～赤レンガ倉庫は語る～

きかん
期間

がつ にち にち がつ にち にち
1月25日(日)～3月29日(日)



きゅうひろしまりくぐんひふくしょう
旧広島陸軍被服支廠とは

しゅん きさ
「瞬を刻む」より (株)ニッショウプロ作成

きゅうひろしまりくぐんひふくしょう とうきょう りくぐん ひふくほんしょう しょう し
旧広島陸軍被服支廠は、東京にあった陸軍の被服本廠の支廠(支部)です。その
りくぐんひふくしょう ねん めいじ ねん がつ せいてい ひふくしょうじょうれい りくぐんしょうたつ
陸軍被服廠は、1886年(明治19年)3月に制定された被服廠条例(陸軍省達16
ごう もと せっし りくぐんしょよう ひふく ちょうたつ せいぞう ほきゅうとう にな
号)に基づき設置され、陸軍所要の被服の調達・製造・補給等を担いました。1904
ねん めいじ ねん がつ にちろせんそう ほつぱつ せんち かえ かんそうひふくひん せんたく
年(明治37年)2月に日露戦争が勃発し、戦地から返ってくる還送被服品の洗濯
しゅうり ひろしましひじやま こうじょう けんせつ ばしょ ひふくしょう
修理のため広島市比治山に工場が建設されることとなり、やがてその場所に被服廠

ひろしまはしゅつじょ せっち げんそん どう そうこ だいごしだんけいりふ じっし
の広島派出所が設置されました。現存する4棟の倉庫は、第五師団経理部が実施
せっけい ねん めいじ ねん がつ こうじ ちやっこう ほんたいこうじ かんせい
設計としてまとめ、1911年(明治44年)12月に工事に着工し、本体工事が完成
そうこ きょうよう かいし ねん たいしょう ねん がつ
し、倉庫としての供用が開始されたのが1914年(大正3年)4月になります。
ひばくちよくご ひばくしゃ りんじきゅうごじょ しよう おお かた な
被爆直後は、被爆者の臨時救護所として使用され、多くの方が亡くなりました。
せんご がっこう きょうしつ うんそうがいしゃ そうこ かつよう ねん へいせい ねん
戦後は学校の教室や運送会社の倉庫として活用されました。1994年(平成6年)
ひろしまし ひばくたてもの とうろく げんざい かつよう
に広島市が被爆建物として登録しています。現在は、活用されないままとなってお
り、県では、利活用の検討や安全対策の実施設計などを行っています。
あわ ねん れいわ ねん ど じゅうようぶんかざいしてい む けんちくぶつ か ち ちょうさ
併せて、2021年(令和3年)度より、重要文化財指定に向けた建築物の価値調査
じっし ねん れいわ ねん がつ ちようさけっか と けっか ふ
を実施し、2023年(令和5年)3月に調査結果を取りまとめました。その結果を踏
まえ、2023年(令和5年)11月24日に国の文化審議会文化財分科会において、
じゅうようぶんかざい してい とうしん おこな ねん れいわ ねん がつ にち じゅうよう
重要文化財に指定するよう答申が行われ、2024年(令和6年)1月19日に、重要
ぶんかざい してい
文化財に指定されました。
げんそん とう とう けん とう くに ちゅうごくざい むきょくしょかん しょゆう
現存する4棟のうち3棟を県が1棟を国(中国財務局所管)が所有しています。
じんるいじょうはじ ひろしま げんばく とう か ねん す さ ひばくたてもの
人類史上初めて広島に原爆が投下されて80年が過ぎ去りました。この被爆建物
かた かくへいき きょうふ ひじんどうせい し わたし かくへいき はいぜつ しん
が語りかける核兵器の恐怖と、その非人道性を知る私たちは、核兵器の廃絶と真の
こうきゅうへいわ じつげん うつた つづ しめい こんかい
恒久平和の実現を訴え続けていかなければならない使命があります。今回の
きかくとん げんそん ひばくたてもの こくないさいだいきゅう たてもの
企画展では現存する被爆建物としては国内最大級の建物である
きゅうひろしまりくぐんひふくししよう とお はんせん ひかく おも つよ かつよう
旧広島陸軍被服支廠を通して反戦・非核の思いを強くするとともにその活用について
かんが
ても考えるきっかけとしていきます。

こうえんかい わたし ひばくたいけん きゅうひろしまりくぐん ひ ふくし しょう
講演会:「私の被爆体験と旧広島陸軍被服支廠」

にち じ 時: 2月22日(日) 13:30~15:00

こう 講 師: ひばくたいけんしょうげんしゃ きりあけ ちえこ
講師: 被爆体験証言者 切明 千枝子さん

こう 講 場: ひまわりひろしま ひまわりひろしま
場所: 福山市人権平和資料館

にゅうじょうむりょう
入場無料

こうし 講師プロフィール

ねん しょわ ねん きゅうせい たばい
1929年(昭和4年)生まれ。旧姓:煙井。
こうとうじょがっこう ねん げんさい こうこう ねん
高等女学校4年(現在の高校1年)だった15
さい とき ばくしんち ろじょう ひばく
歳の時、爆心地から1.9kmの路上で被爆。
ひろしまじょしせんもんがっこう げん けんりつひろしまだい そつきょうご
広島女子専門学校(現・県立広島大)卒業後の
ねん しょわ ねん ひろしまけんきょういくいいんかい
1949年(昭和24年)に広島県教育委員会に
しゅうしょく さい ひばくたいけん しょうげん はじ
就職し、85歳で被爆体験の証言を始める。
ひろしまへいわ きねんしりょうかん しゅうがくりょこうせい
広島平和記念資料館などで修学旅行生など
こうわ ひばくたいけんしょうげんしゃ
に講話をする「被爆体験証言者」としても
かつどう げんざい きゅうひふくしょ ほせん ねが
活動している。現在「旧被服支廠の保全を願う
こんだんかいめいよかいちょう
懇談会名誉会長」

